

# 大浜学園だより

平成29年6月号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

## 夏季集会は地区懇談会の発展・統合

数年前まで各区では、小・中学校の先生方や警察の方をお招きして地区懇談会が行われていました。

この地区懇談会は、区の役員さん、園や学校の保護者の皆さん、そして、区で活躍しているさまざまな立場の方が区によっては100人以上の方が集まって、夏休みの前に子どもたちの健全育成のために防災・地区センターなどで行われました。

地区懇談会は、小・中学校の先生方や警察の方のお話、区で招いた講師の方の講話、交通安全や携帯電話などの使い方等のビデオの視聴、そしてテーマを決めての懇談などを行いました。

現在は、この地区懇談会を発展・統合して、大浜学園夏季集会として開催しています。

地区懇談会を夏季集会として発展・統合したのは、会場準備、講師やビデオの選定、小・中学校との連絡などが各区の負担となっていたためです。子どもたちの健全育成を図りながら少しでも各区の負担を減らそうと考え、発展・統合したものが大浜学園夏季集会です。

本年度の夏季集会は、残念ながら参加者が多いことや会場の関係からテーマを決めての懇談はできませんが、下記のように地区懇談会とほぼ同様な内容となっています。

- (1) 大浜学園会長の話
- (2) 幼・保園、小・中学校の活動の紹介
- (3) 子どもたちによるパフォーマンス
- (4) 講話『仮題:地域で子育て』

この夏季集会は、7月19日(水)午後7時~8時45分、シオーネで開催されます。

地区懇談会から夏季集会へ移行した当初は、発展・統合された経緯が皆さんに理解されていたために400名近い参加者がありました。ところが、年を経るごとに参加人数が減って昨年は、200名程度になってしまいました。

本年度は、大浜学園の活動について御理解を深めていただくとともに、子どもたちの健全育成のために、ぜひ、多くの皆さんの参加をお待ちしています。



子育ては、  
一人の人間を  
育てるといふ、  
りっぱな仕事です。

そんな大切な仕事をしているという、  
自信と誇りをぜひ持っていただください。



5月24日(水)放課後子ども教室(千浜小学校)



# 子どもの与えてくれる喜びを忘れていませんか？

佐々木正美著『抱きしめよう、わが子のぜんぶ』大和出版より

## 「この子がいて幸せ」と思えることの大切さ

ある意味、人間はだれもが正しい依存症だと考えています。そして、相互依存のできる人こそが健全な人だと思っています。

人間はみんな相互依存によって生きているわけで、健全な相互依存をしている人を「依存症」とはいいません。よい依存をしているときには、私たちはそれを病的と見ませんから、問題視することもなく、またする必要もありません。

夫婦の例で考えてみてください。よい相互依存ができていくカップルほど、よい夫婦です。親子でもそうです。子どもはいつも親に依存している、というのは間違いで、親も子どもに依存しているのです。そこを、親は見逃しがちです。

心理学者のエリクソンは、「よい人間関係というのはだれとだれの関係であっても、与えているものと与えられているものが相互で等しい価値を認識しあっている。」と言っています。また、「そうした人間関係が最高だ。」とも言っています。

人間はみんな依存しあって生きている、という前提を忘れてはいけません。相互関係を抜きにしたら、人は孤立してしまいます。それでは健康に生きられません。健康な依存は、人と人との関係で成り立つものです。

幼い子どもの場合は、一見一方的に大人に依存しているように見えます。でも、本来子どもは、その存在だけで大人を喜ばせる力があります。



そして、自分が喜ばせている大人に、自分自身も喜んでいる、それが子どもと大人との自然な依存関係です。

よく「この子は私がいなければ育たない」などという親がいますが、そうではなくて、「この子がいなければ、私は生きがいをもって生きられない」という気持ちを自分で認識することが大切で、そのように思っていれば、子どもは健全に育ちます。

これは、思春期の子どもたちにもいえることです。中学生や高校生のお子さん、むずかしい年ごろですが、お父さんお母さんが、「この子といられて幸せ」「この子を育てることが私の生きがい」そんなふうに思いながら接していると、子ども



5月17日(水)放課後子ども教室 (大坂小学校)

もやはり「お母さんと一緒にうれしいな」「お父さんがいてくれて幸せだな」と幸福を感じることができるのです。

同居していた祖父母は、子どもたちに対して、「君たちは、よくわが家に生まれてきてくれたね」と、しばしば言っていました。生まれてきてくれたことそのものが、祖父母に幸福を与えていたわけです。孫に依存して生きていることを、自然に祖父母はわかっていたのでしよう。孫をかわいがることが、依存していることなのです。

祖父母たちはそれぞれの時代の生き方として、自分だけでなく家庭内外の周囲の人たちのことも考えながら生きる生き方を、今よりずっとゆたかに身につけていました。

ですから、祖父母たちは孫といっしょに過ごしていること自体を喜びに感じていたと思います。幼い孫のために、何かをしてやること、そのこと自体が大きな喜びだったのです。自分たちのもとに生まれてきてくれたことを、そのまま感謝して喜んでいてくれたのです。それが子どもたちの発達や成長に、どれだけ豊かな贈り物になったかは、簡単に表現できないほどです。自立とは、一人で生きていくことではありません。

人を信じて、人から信じられながら生きること。相互依存することができることを自立というのです。



## 伝言板

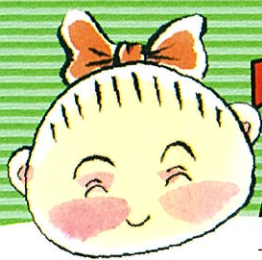
放課後子ども教室や園・学校のお手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。お手伝いいただける方は、下記の赤堀または山崎まで御連絡をお願いします。

会長 羽田秀樹 (090-6769-8639)  
コーディネーター  
赤堀敬子 (090-6083-2284)  
山崎昇吉郎 (090-3250-0601)

5月17日(水)放課後子ども教室 (大坂小学校)







# 大浜学園だより

平成29年7月号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

## 夏休みは、夏休み子ども教室!

大浜学園では、夏休みの午前中、夏休み子ども教室を行っています。学期中は、学校に行っている子どもたちが、お家にいると掃除や洗濯などの家事が思うように進みません。「保護者の子育てを応援する」は、大浜学園の方針です。

一方、子どもたちはどうしてもテレビやゲームなどをしていて外に出て遊ぶことが近年少なくなっています。読み聞かせを聞いた後、夏休みの宿題を済ませてし～すぽのアリーナで運動遊びで汗を流す。夏休みの過ごし方としては、理想的ではないでしょうか?

「子どもたちの成長を支援する」も大浜学園の方針の一つです。

本年度は、し～すぽの都合で大坂小学校の図書室や体育館をお借りして行う日が何日かありますが、たくさん子どもたちが夏休みを有意義に過ごすために参加してくれることを期待しています。

千浜小学校の子どもたちにとっては、し～すぽや大坂小学校は、少し遠かったり、行きにくかったりするとは思いますが、出来たばかりの体育館は、正門を入れてすぐです。お家の方に送っていただければ10分も掛からないで着きます。お友だちと誘い合っ、順番に送り迎えするなどの工夫をして、ぜひ御参加ください。

なお、締切りが過ぎても、30名の定員に満たない日は、当日でも参加することができます。夏休み前までには、定員に満たない日をお知らせいたしますので、御参加ください。なお、当日は先着順とさせていただきます。



30分間の読み聞かせ

### 夏休み子ども教室の開催日と会場

月	火	水	木	金	土	日
24	25	26	27	28	29	30
			し～すぽ	し～すぽ		
31	1	2	3	4	5	6
し～すぽ	し～すぽ	大坂小体育館	大坂小体育館			
7	8	9	10	11	12	13
し～すぽ	大坂小体育館	し～すぽ	し～すぽ			
14	15	16	17	18	19	20
大坂小体育館	大坂小体育館	大坂小体育館	大坂小体育館	し～すぽ		

参加費は、1日300円。当日お支払い下さい。



1時間30分間の運動遊び



30分間の自習(夏休みの宿題などをやります)

「ほめる」とは、  
 子どもを評価する  
 ことではありません。  
 子どものがんばり、  
 成長を見つけて、  
 その喜びを伝えていく  
 ことです。





# 思春期：心も身体も大人へ

文部科学省『家庭教育手帳』中学校編より

## 心も身体も大人ではないけれど 全くの子どもでもない

思春期とは、身体の成長に心の成長が追いつかず、だれもが不安定な気分になりやすい時期です。「私は何なのか」「私はどう生きていきたいのか」などと自分に直面し、自分を見る「もう一人の自分」が意識されるようになります。小さなことで有頂天になったり、逆にひどく傷ついて落ち込んでしまったりします。異性への興味が高まったり、親や先生がうっとうしく感じるようになり、自分だけの秘密をもち始めます。

こうした心の変化に対し、身体では、体型全体の大人化が著しく進みます。女性では月経、男性では射精が始まります。また、抑えがたい性衝動が性非行を含むさまざまな問題行動の原因へとつながることもあります。

まず、「思春期」について親がしっかりと理解を深めましょう。



話などを通じてかかわる努力が欠かせません。その際には、行動の結果にはきちんと責任が伴うことを自覚させることも大切です。

## この時期は、友達の影響を受けやすい

思春期は仲間や友達の存在が、家族以上に重要になる時期でもあります。

家族よりも、友達同士のルールの方が大切になり、ときには親にうそをついてでも、友達同士のつながりを守ろうとすることもあります。それだけに友達からの影響は大きく、「いじめ」も問題になりやすいのです。

心配だからといって、子どもの行動を監視したり、根ほり葉ほり話を聞きだそうとする必要はありませんが、普段からの会話を通じて、子どもと友達の間を関係を理解するよう心がけましょう。



6月24日(土)大浜学園つり大会

## 言うことを聞かないのは、 子どもの自立が始まった証拠

親にとってみれば、「こんな子ではなかった、どうしたものか」ととまどうでしょう。子どもの複雑な思春期の始まりです。この時期は、子どもの大きな変化の助走期ともいえます。

この時期に子どもが言うことを聞かなくなっても、いたずらに動揺したり抑えつけたりする必要はありません。それは子どもの親離れが始まった証拠です。むやみな干渉やお説教はできるだけ控えて、子どもの力を信じながら、あたたかく見守りましょう。ただし、腫れ物にさわるように接するのではなく、これまで以上に会

## 保幼小中学校全体研修会

大浜学園では、保幼小中学校の先生方も授業力の向上をめざして研修会を開いています。本年度の会場は、大浜中学校です。大浜中学校では、パソコンや視聴覚機器を使って、分かりやすく、そして効率的に教えるにはどうしたら良いかの研究を行っています。どの授業でもパソコンやタブレット、大型テレビやプロジェクターなどを使って授業を進めていました。

教室環境も整い、生徒たちも生き生きと取り組んでいました。きちんとヘルメットを被って登校している生徒たちの表れからきつと学校でも真剣に取り組んでいるのだらうと予想していましたが、予想どおりでした。



ペッパー使い  
学習成果披露



ペッパーを使うプログラミングの公開授業＝掛川市の大浜中

2017年6月15日

中日新聞

掛川市大浜中学校と  
同校区内の幼稚園や保  
育園、小学校などで構  
成する「大浜学園」の  
全体研修会が十四日、  
同中学校であった。教  
職員約八十人が参加  
し、「ほめて伸ばそう」  
叱って正そう」など、  
同学園の「子育て五か

専用パソコンを使っ  
て「ようこそ 大浜中  
学校へ」のあいさつや  
自己紹介をさせようと  
奮闘する生徒の姿に、  
幼保、小学校らの先生  
も興味津々。成功した  
生徒に拍手を送ってい  
た。(正木徹)

釣れたよ!

